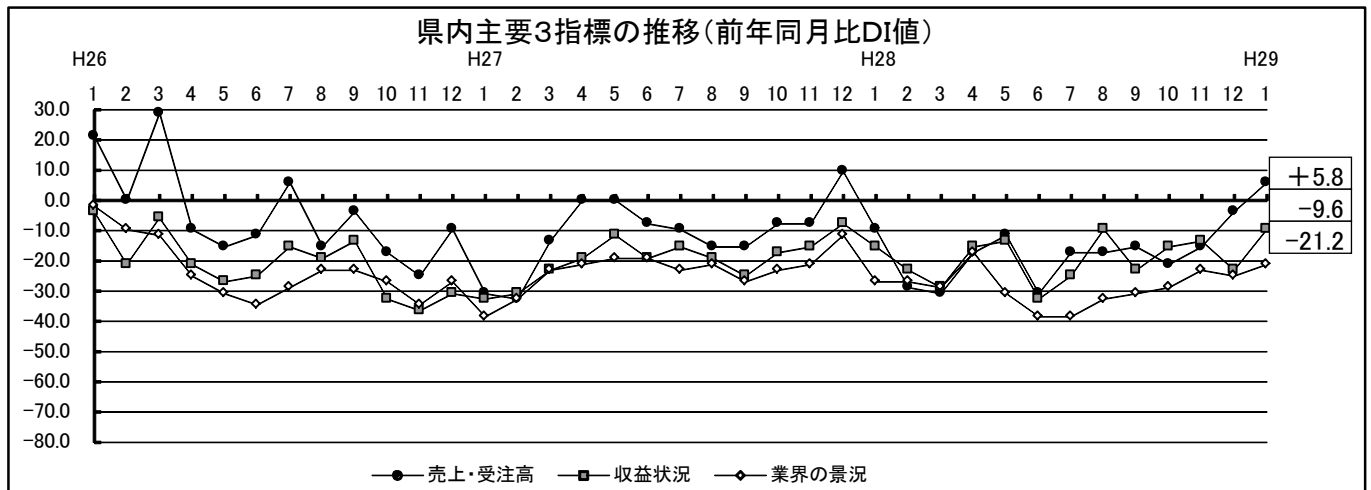


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年1月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 1月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の7指標が上昇した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より9.6ポイント上昇の5.8ポイント、「収益状況」が13.5ポイント上昇の-9.6ポイント、「業界の景況」が3.8ポイント上昇の-21.2ポイントであった。
- 年末需要は伸び悩んだものの、1月後半に入って徐々に需要が増加してきたという回答が製造業を中心に散見され、「売上高」は昨年12月以来となるプラス値を記録した。このまま年度末に向けて回復基調が期待されるが、売上高・収益に対して景況の改善スピードが鈍く、依然として予断を許さない状況である。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	+5.8	+9.6	-17.5	-6.3
収益状況	-9.6	+13.5	-22.3	-4.0
業界の景況	-21.2	+3.8	-24.9	-2.0

売上・受注高

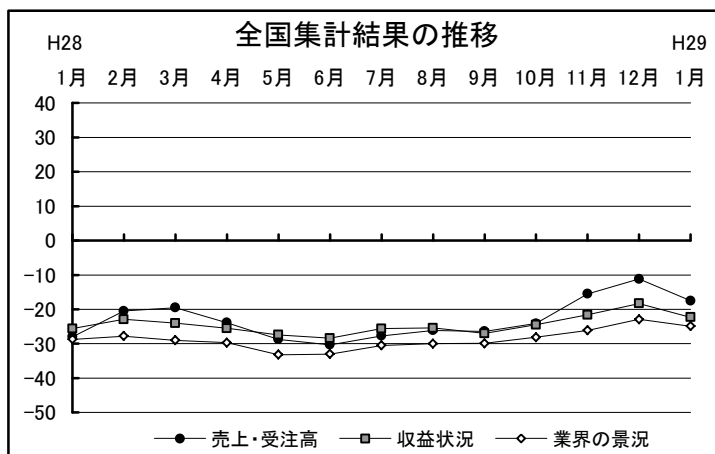
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より9.6ポイント上昇の5.8ポイントとなった。全国においては、前月より6.3ポイント下降の-17.5ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より13.5ポイント上昇の-9.6ポイントとなった。全国においては、前月より4.0ポイント下降の-22.3ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より3.8ポイント上昇の-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より2.0ポイント下降の-24.9ポイントとなった。



-概況-

1月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上」「在庫」「価格」「条件」「収益」「資金」「景況」の7指標が上昇した。主要3指標は、「売上」が前月より9.6ポイント上昇の+5.8ポイント、「収益」が13.5ポイント上昇の-9.6ポイント、「景況」が前月より3.8ポイント上昇の-21.2ポイントであった。現状維持の2指標を除き7指標が上昇を示し、特に「売上」は13カ月ぶりのプラス値を示した。ただし、「売上」「収益」が増加したと回答した連絡員も「景況」については据え置きで回答しており、あくまで一時的な浮揚に過ぎず、いまだ根本的な景気回復には至っていないと考えられる。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中4業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が上昇、2業種が下降した。「収益」は製造業で2業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で3業種が上昇した。「景況」は製造業で1業種が下降し、非製造業で2業種が上昇した。

米国のトランプ新政権の通商保護主義が鮮明となり、自動車・産業機械等の輸出関連製造業を中心に将来的な競争力の減退懸念が強まった。国内においては、例年に比して正月連休が短期だったことに加え、記録的な寒波の到来により年始商戦は低迷した。またこれにより生鮮品の需給不調も再燃している。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	×	△	△	△	△	△	×	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	○	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	△	△	—	△	×
サービス業	○	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転 (DI値 +40ポイント以上) △ 不変 × 減少・低下・悪化 (DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況	
食料品製造	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	
繊維・同製品	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	
木材・木製品	-50.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0	
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
窯業・土石	25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
鉄鋼・金属	50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一般機器	25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	
製造業	4.0	-8.0	-4.0	0.0	-20.0	-8.0	-8.0	-4.0	-20.0	
卸売業	33.3	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	/	0.0	-33.3	
小売業	-28.6	-28.6	28.6	-14.3	-14.3	-14.3		0.0	-42.9	
サービス業	50.0	/	16.7	0.0	33.3	16.7		0.0	0.0	
建設業	20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		-20.0	-20.0	
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	-25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
非製造業	7.4		-30.0	11.1	-3.7	0.0	0.0	-3.7	-22.2	
全体	5.8	-14.3	3.8	-1.9	-9.6	-3.8	-8.0	-3.8	-21.2	

図表3～【指標別DI値の推移】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	前月比
売上高	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3	-11.5	-30.8	-17.3	-17.3	-15.4	-21.2	-15.4	-3.8	5.8	9.6
在庫数量	2.9	0.0	-5.7	-8.6	-5.7	-11.4	-22.9	-22.9	-31.4	-28.6	-14.3	-22.9	-14.3	8.6
販売価格	3.8	1.9	-1.9	3.8	-3.8	-7.7	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	3.8
取引条件	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9	-5.8	-3.8	-1.9	1.9
収益状況	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4	-13.5	-32.7	-25.0	-9.6	-23.1	-15.4	-13.5	-23.1	-9.6	13.5
資金繰り	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6	0.0	-11.5	-9.6	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	-5.8	-3.8	2.0
設備操業度	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0	-24.0	-16.0	-28.0	-16.0	-16.0	-8.0	-4.0	-8.0	-8.0	0.0
雇用人員	-3.8	-5.8	-1.9	1.9	3.8	3.8	-1.9	0.0	0.0	0.0	-5.8	-3.8	-3.8	0.0
業界の景況	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3	-30.8	-38.5	-38.5	-32.7	-30.8	-28.8	-23.1	-25.0	-21.2	3.8

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
製造業	12.0	12.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	-4.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0		0.0	33.3
小売業	-14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
サービス業	33.3		0.0	16.7	50.0	16.7		16.7	33.3
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		-20.0	0.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	0.0
その他	-100.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	7.4	0.0	3.7	3.7	22.2	3.7		0.0	11.1
全体	9.6	8.6	3.8	1.9	13.5	2.0	0.0	0.0	3.8

特記事項

情報連絡員報告（平成29年1月分）

所属組合	特記事項
味ぞ製造業	甘酒を主力とした関連商品、健康に良いとされる麴が見直されたことにより引き続き売上が増加している。関連品はもとより味噌そのものへも好影響が出ている。
外衣・シャツ製造業	春夏物の動きが悪い。先が見えない状態。
外衣・シャツ製造業	年明けからの動きが悪い！！
染色整理業	特別な変化は見られない。
一般製材業	1月になってもなかなか良い状況とは言えず、決まっている物件も工事の先延ばしが多く、加工に影響が出ている。
建具製造業	年初はスローなスタートとなったが、月末に近づき年度末の繁忙が予想される受注状況となっている。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	鳥インフルエンザに関連し、消石灰の出荷が引き続き増加した。
砕石製造業	出荷量（4～12月）は昨年同期比で1.9%減少しているが、アスコン用については増加傾向である。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…米国のトランプ大統領の保護主義発言により、地元自動車部品関連企業は今後の動向に不安を感じている。特に北米で売上好調な富士重工関連企業は状況を注視している。 建設機械・大型設備関連…中国よりの建設機械の輸出が若干持ち直している。 雇用状況…相変わらず人手不足の状態である。
金属製品製造業	家電はまだ生産調整中。
一般機械器具製造業	本年2月の報告は、前年同月と比較して、一部の企業を除いて全体的に不変という結果になった。しかし、売上高や雇用人員がやや減少傾向を示していると感じられ、懸念材料となっている。今後の業界の景気状況を注視していきたいと考えている。
一般機械器具製造業	建設機械関係部品の需要が、若干増加しているように見える。
各種商品卸売業	<p>前年同月と比べ、業況に大きな変化はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設業関連卸業では、依然として熟練工が足りない状況下にある。 アメリカのトランプ政権の経済政策が、我が国にどのような影響を及ぼすのかわからない不安である（年末には、景気判断が上方修正されたほか、日経平均株価が2年連続で19,000円台を維持するなど、やっと景気回復の兆しが見えてきただけに…）とした声が多かった。
食肉小売業	正月年明けは購買する意欲が乏しく、毎年1月2月は客の動きがない。韓国・中国の鳥インフルエンザの影響で価格が高騰している。
各種商品小売業	寒い日が続く、残念ながら人出も減少した1月だった。初売りも大型店の福袋も例年になく見かける頻度が減っていたように思われる。大型ファッション店なども売上が悪く、20%ダウンと聞いている。

各種商品小売業	<p>今年は正月～成人の日までの期間が短く苦戦が予想されたが、結果としては正月三が日の売上が前年を大幅に上回り、月間を通して売上でも前年をクリアすることができた。奇しくも、元旦営業の在り方などがメディアで大きく取り上げられた年ではあったが、現場の現状としては正月の購買力のスケールを再認識させられる初売りであった。</p> <p>このほか、従業員のモチベーションをあげられるよう、施設全体として課題に向き合っていきたい。</p>
花・植木小売業	<p>葬儀などの業務需要で引き合いが強い輪菊、スプレー菊、ストック、スナップ、白カーネーション等を中心に高値傾向で推移した。1月のトータルを見ると、入荷量は前年比で5%程度減少、寒さのため消費者の購買は鈍かったが、主要品目で高値が続いたために、全体で見ると5～8%程度の単価高での市場推移となった。</p>
理容業	<p>高齢化が進み、後継者不足のための廃業が相変わらず多く見受けられる。それに伴い組合員数も減少しており、深刻な問題となっている。</p>
自動車整備業	<p>これから年度末に向け増販期となり、新卒者の需要も増えていく。今年度の売り上げ減少分をカバーできるよう取り組みたいと思う。</p>
ビルメンテナンス業	<p>構内作業員の業務量が増え、単月で増収増益となった。累計でも増収増益となっている。</p>
給食センター	<p>平成28年3月末で不採算部門は撤退したが、平成28年4月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。</p> <p>食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造したシニア向け弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。</p>
旅館・ホテル	<p>1月は前年比でおおむね横ばいの中でやや上昇した。上昇した施設と下降した施設の割合はおおよそ半々といったところ。なお、スキー客の入込は昨年度に引き続き鈍い。</p>
内装工事業	<p>栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは51%減、敷物用ラベルは147%増、壁装用ラベルは11%増であった。</p> <p>ラベル支給（売上）金額前年同月比23%増、平成28年4月～平成29年1月累計では41%減であり、1月の売上は上昇したものの、相変わらずラベルの支給は減少している。</p>
一般貨物自動車運送業	<p>輸送品の需要格差が広がり、事業者間の収益格差も拡大傾向にある。</p> <p>それに加え、燃料価格上昇、深刻なドライバー不足など厳しい環境である。</p>
貨物軽自動車運送業	<p>昨年同期と比べると全般的に荷動きは順調に推移した!!中でも、建築関連貨物の輸送量が良好で、学生・単身赴任者等の引っ越し予約も増大している!!</p> <p>受注量が増大しても需要に供給が追いつかず、人手不足（ドライバー不足）で大きな機会損失を招いている。</p>
一般乗用旅客自動車運送業	<p>昨年は降雪等によるお客様もあったが、比較すると全体で7%くらい落ちている。</p>
大谷石採石業	<p>前年同月比較で貼石関連は約10%の減。積石関係はほぼ同じであった。昔から1月、8月は量の少ない月だが、前年度比較での減少は痛い。</p>
砂利採取業	<p>県西地区で、1社新規の組合加入があった。</p>